



エコ・ファーストの約束

—環境先進企業としての地球環境保全の取り組み—

2020年10月21日

環境大臣 小泉 進次郎 殿

大東建託株式会社
代表取締役社長 小林克満

私たち大東建託グループは、土地活用の先進企業として、事業活動を通して環境に配慮した取り組みを推進し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

1. **建築** 建物を建てる時の環境配慮と温室効果ガス排出量削減を推進します。

- ① 建物のライフサイクル全体で温室効果ガス排出量の見える化に取り組みます。
- ② 省施工・工期短縮など環境負荷の低減につながる工法の開発・導入を進めます。また、資材の長寿命化や運送の効率化を進め、建設時の温室効果ガス排出量の削減に取り組みます。
- ③ 再生可能エネルギーの導入などにより施工現場の脱炭素化を目指します。
- ④ 新しい木造建築素材である「CLT」を活用した脱炭素型の賃貸集合住宅の開発・販売促進に取り組みます。

2. **暮らし** 入居者様の暮らしの温室効果ガス排出量削減を推進します。

- ① 入居者様の暮らしの温室効果ガス排出量削減に取り組み、2030年までに2017年度比で「16%」削減を目指します。（SBT目標・スコープ3）
- ② 創エネと省エネによって暮らしのエネルギーを実質ゼロにするZEHの販売促進に取り組みます。
- ③ 暮らしの温室効果ガス排出量削減につながる省エネ資材の開発・導入を進め、入居者様の快適な暮らしと環境配慮の両立を実現します。

3. **ごみ** すべての廃棄物の循環を目指します。

- ① 建物の新築時や解体時に発生する廃棄木材の100%リサイクルを目指します。
- ② 施工現場や資材加工時における産業廃棄物排出量の少ない工法・技術の開発・導入を進めます。
- ③ 廃プラスチック排出による環境負荷低減に向けて、リデュースとリサイクルを推進します。

4. **企業** 事業活動における温室効果ガス排出量削減を推進します。

- ① すべての事業活動における温室効果ガス排出量の削減に取り組み、2030年までに2017年度比で「55%」削減を目指します。（SBT目標・スコープ1・2）
- ② すべての事業活動において、省エネ化を推進し、エネルギー効率の向上に取り組みます。
- ③ すべての事業活動で消費する電力を、2040年までに100%再生可能エネルギーにします。
- ④ 事業活動で使用する自動車による温室効果ガス排出量削減を推進します。

5. **自然** 自然環境と共生した事業活動を目指します。

- ① 木材の循環利用促進に向けて、木造の賃貸集合住宅の販売促進に取り組みます。
- ② 自治体やNGO、NPOと協働して、地域の森林環境保全・生物多様性への配慮に取り組みます。
- ③ 国産木材の活用推進に取り組み、林業振興や地域創生に貢献します。
- ④ 木材の調達による森林破壊ゼロを目指し、サプライチェーンの透明化に取り組みます。

6. **人** 環境に配慮した人と組織の実現を目指します。

- ① 環境に配慮した組織の実現に向けて、社員や支店主体の環境経営体制の強化に取り組みます。
- ② 社員一人ひとりの環境意識向上に向けて、環境教育を継続して実施します。

大東建託株式会社は、上記取組みの進捗状況を定期的に確認し、環境大臣に報告するとともに、環境報告書、ホームページで公表します。